

戦争法は廃止に、憲法守れ

月寒九条の会

会報

2016年3月
No.12



ストップ「戦争法」! 市民大集会に270名

豊平区内の九条の会をはじめとする各種団体、個人でつくる「ストップ『戦争法』豊平区民の会」は2月7日午後、北海学園大学で「ストップ戦争法、守れ民主主義市民大集会」を開催しました。

集会には270名を超える市民が

九条2項手放すことは

売国行為

をゆるめることは許されないと指摘。「九条2項があったから湾岸戦争でも自衛隊の派兵を断られた。70年間ひとりの戦死者も出さなかった。今、安倍首相は日本の一番大切なものを手放そうとしている。これは国を売る行為」と



講演する上田氏

連絡先：野口 (852-9360)
加藤 (852-2346)
e-mail:tsukisamu9@yahoo.co.jp
http://www.geocities.jp/tsukisamu9/

参加、元札幌交響楽団の小島さんによるチェロ演奏で開幕、パブロ・カザルスの「鳥の歌」など4曲が披露されました。

共同代表の

岡野北大名誉教授の挨拶のあと、弁護士の上田前札幌市長が「市民の力で『安保法制』の撤廃を」と題して講演。

各団体、個人からスピーチ

語り、「日本の伝統を守れ」と言いながら、アメリカいいなりとなっている安倍首相の対米従属ぶりを批判しました。上田氏は、自民党改憲案のねらいについても語り、「国民の権利、表現の自由を奪う内容となっており、政府のまらがいやを国民が正すことができないようにするもの」とその危険性を指摘。「このような改憲勢力は選挙で当選させない、野党は統一して選挙に勝利することが必要。そのためにも皆さんの協力も」と訴えました。

次いで、参加各団体、個人からのスピーチがあり、月寒九条の会共同代表の三上さんは「安倍首相は戦争法提出前にアメリカ議会で成立を約束した。アメリカには抵抗なく従うのは全く不思議。私は九条の大切さは骨の髄からわかっている。私もできることをやらなければ」と語りました。北海学園大学有志の会からは「今の学生はネットでいろんな情報を得ているが、将来日本を担っていくうえで大

市民団体が力を合わせて「戦争法」



スピーチする三上さん

切な情報はネットにない」として、4月から憲法や近代史についての連続学習会を行うことが紹介されました。

他に、「戦争させない北海道をつくる市民の会」メンバー、平岸九条の会、教会の牧師さんなどからスピーチがあり、戦争法に反対し平和を願う思いが語られました。

集会は、「豊平区民の会」の設立経過と役員を紹介した後、会の設立を確認し、共同代表の石垣（月寒教会牧師）さんが閉会の挨拶をしました。終わりに当たり、参加者一同、「戦争法の廃止と、2000万人統一署名に取り組みよう」として、集会を終わりました。

